



取扱説明書

メカニカルオイルメーター
OM-30MN ITEM No.805339

デジタルオイルメーター
OM-30D ITEM No.805185



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項を良く理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などあましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、主に潤滑油の流量が確認できるオイルメーターシリーズです。計測機構は、オーバルギア型で、メカニカル式とデジタル式の2種類があります。

このオイルメーターシリーズを使用するためには、手動式・エア駆動・電動式オイルポンプのオイルラインに接続します。車両などへの給油などに使用することができます。

- ・このオイルメーターシリーズは、エンジンオイル、ギアオイル、ATF オイル、そして作動油用に設計されたものです。ブレーキ液やウインドウウォッシャー液には使用できません。
- ・オイルメーターに接続できる最大許容圧力は7 MPa、最大吐出量は30 L/min です。
- ・本製品は、計量法の定める取引または証明に用いることはできません。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。





- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告










[高圧噴射による危険]

メーター、ガン、ホースからの漏れ、または部品の破裂部分から噴出する高圧の液体は、皮膚を貫通します。単なる切傷のように見えても、切断に至る重大なケガに繋がることがあります。すぐに医師の手当てを受けてください。

-  - 吐出口を人や体の一部に向けないでください。
-  - 吐出口の先に手をかざさないでください。
-  - 液漏れを手、体、手袋または布などで止めたりしないでください。
-  - 供給作業を中止する場合、または装置を清掃、点検、修理する前には、使用上の注意の [圧力解放手順] に従ってください。

[本製品の誤用による危険]




本製品を誤って使用すると、死亡事故または重大な人身事故を招くことがあります。

-  - 疲労しているとき、または薬物の服用や飲酒状態で本製品を操作しないでください。
-  - システム内（配管など）で耐圧または耐熱定格が最も低い部品の、最高使用圧力または最高使用温度を超えないでください。
-  - 本製品を改造しないでください。
-  - このオイルメーターは、専門の人だけが使うためのものです。
-  - 本製品の接液部分に適合する液体または溶剤を使用してください（「9.主要諸元」の項を参照）。液体及び溶剤製造元の警告も参照してください。材料についてすべての情報が必要な場合、小売業者から SDS フォームを要求してください。
-  - 毎日本製品を点検してください。摩耗または損傷した部品は、メーカー純正の交換部品のみを使用し、速やかに修理または交換してください。
-  - 本製品は所定の目的にのみ使用してください。詳しくはお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。
-  - 子供や動物を作業場所から遠ざけてください。
-  - 適用されるすべての安全に関する法令に従ってください。


警告

[火災、爆発の危険]




作業場所にガソリンやウインドウォッシャー液などの可燃性液体がある場合、火気が火災または爆発を起こす可能性があります。火災及び爆発を避けるには：

-  - 十分換気された場所でのみ使用するようしてください。
-  - たばこの火や携帯電灯などのすべての着火源は取除いてください。
-  - 作業場所に消火器を置いてください。


[個人用保護具]

-  - 取扱う液体の種類により、視覚障害や聴覚障害、有毒ガスの吸入、ヤケドなどの重傷を負う危険性があります。作業場所では、重大な損傷を防ぐために適切な保護具を着用してください。
<保護具の例>
 - ・防護メガネ、耳栓
 - ・液体や溶剤メーカーが推奨するマスク、防護服、手袋

注意

-  - オイルメーターシリーズの最高使用圧力は7 MPa です。最高使用圧力を超えるポンプ吐出圧力での使用は、本体の亀裂などによりケガをしたり、作業場所を汚染したりする恐れがあります。
-  - 給油後、給油量を必ず確認してください。給油量に過不足があると思わぬトラブルの原因になります。
-  - オイルメーターシリーズから排出される潤滑油には、人体に影響がある有害物もあります。必ず容器に排出し、地面などには直接排出しないでください。

[接地]

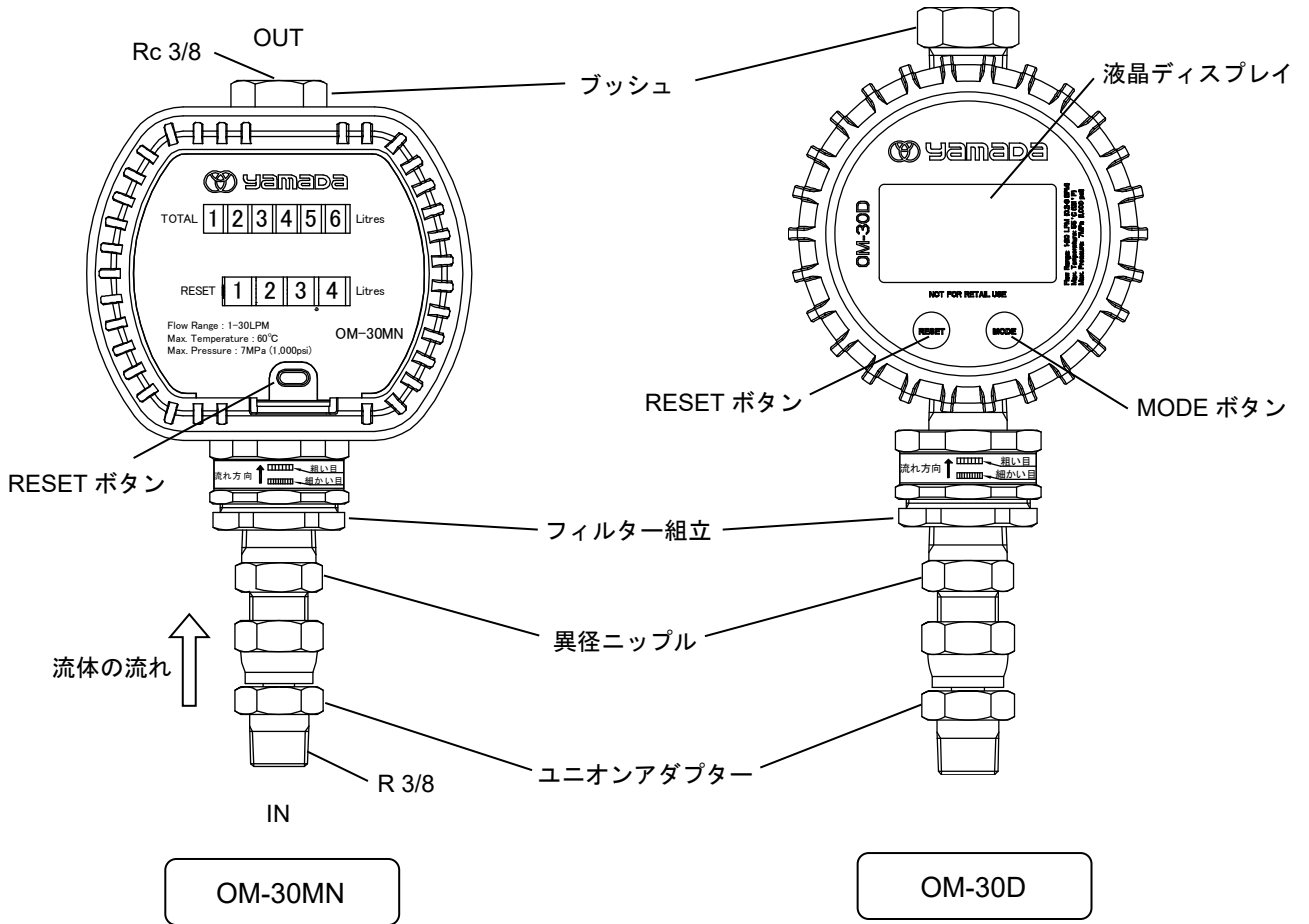
-  - 適切な接地を行うことは安全なシステムを維持することの根幹です。液体が配管内を流れると静電気が発生します。静電気は可燃性の気体の発火を引き起こす恐れがあります。静電スパークのリスクを減少させるには、システム構成部品を地域及び国の電気工事規定に従って接地します。ポンプ及び他のシステム構成部品用の使用説明書を参照して以下のものを接地します。
 - ・ポンプ：製造元の推奨に従ってください。
 - ・エア及びホース：アース入りホースのみを使用してください。
 - ・エアコンプレッサ：製造元の推奨に従ってください。
 - ・液体供給容器：地域の法令に従ってください。洗浄時や圧力を抜くときに接地を維持するには、常に接地した金属缶にバルブの金属部分を接触させ、それからバルブの引金を引きます。

目次

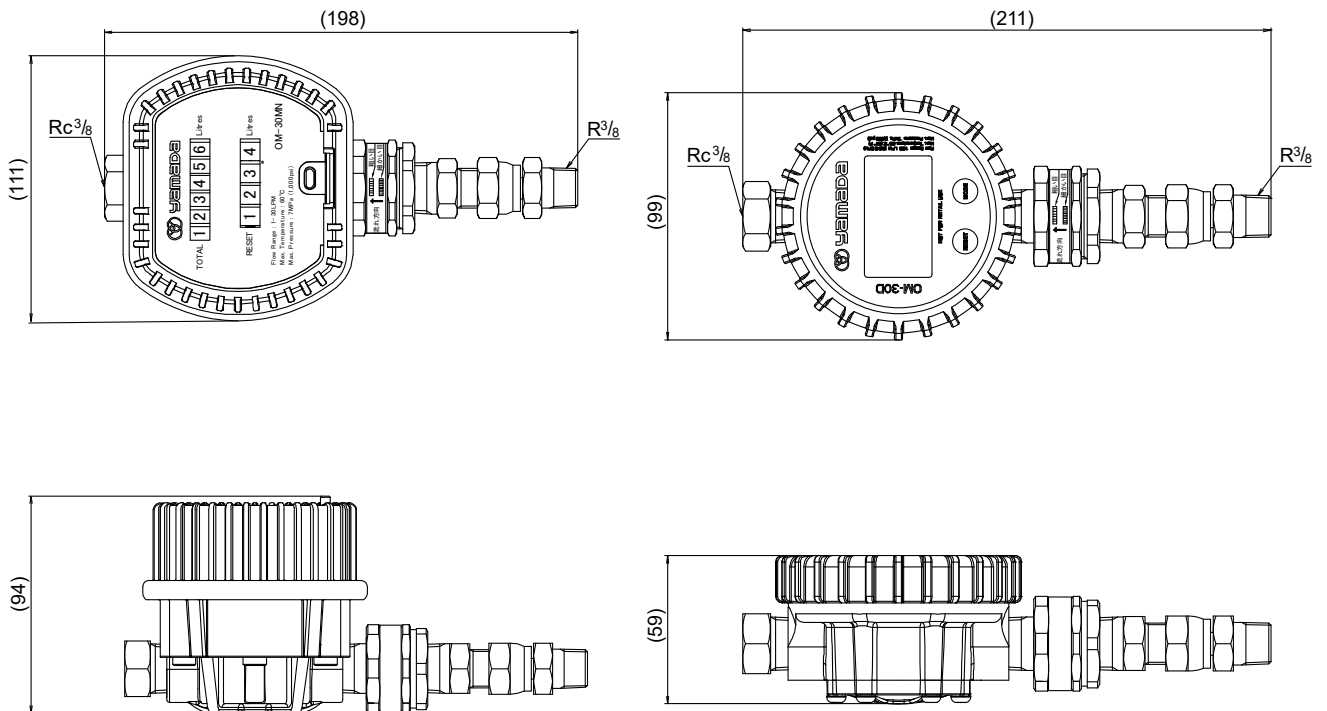
- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称と外観寸法	
1.1 各部名称	1
1.2 外観寸法	1
2. 使用前の準備	
2.1 オイルメーターの接続	2
3. 用語の説明	2
4. TOTAL のリセット方法	
4.1 OM-30MN メカニカルオイルメーターの場合	3
4.2 OM-30D デジタルオイルメーターの場合	3
5. プログラムメニューへの移行及び運転モードへの復帰 (OM-30D デジタルオイルメーターのみ)	
5.1 表示桁数の変更	3
5.2 計測単位の変更	4
5.3 較正	4
6. メンテナンス	
6.1 バッテリー交換 (OM-30D デジタルオイルメーターのみ)	5
6.2 メーターボディの清掃	6
7. メーター分解図	
7.1 メカニカルオイルメーター (OM-30MN)	7
7.2 デジタルオイルメーター (OM-30D)	7
8. トラブルシューティング	8
9. 主要諸元	8
10. 製品保証登録シート	9
11. 保証規定	10

1. 各部の名称と外観寸法

1.1 各部名称



1.2 外観寸法



2. 使用前の準備

注意



- 内蔵されている電池は出荷検査用電池となります。
消耗している場合は新品の電池に交換してください。



- 定期的に電池交換を行ってください。使用頻度にもよりますが、5年ごとの電池交換を推奨します。
電池が消耗している状態で使用を続けると、誤作動が発生することがあります。



- 電池は必ず新品を使用してください。(使用電池：3V リチウムボタン電池 CR2450 1個)



- 本製品の接液部分に適合する液体または溶剤を使用してください(「9.主要諸元」の項を参照)。液体及び溶剤製造元の警告も参照してください。材料についてすべての情報が必要な場合、小売業者から SDS フォームを要求してください。



- 新設の配管の場合、配管内にゴミが多く付着していることがあります。オイルメーターを接続する前に十分な洗浄を行ってください。また、使用開始後1週間及び1か月後にフィルターの洗浄を必ず行ってください。

2.1 オイルメーターの接続

- 1) 各付属品に欠品がないか確認してください。
メーター本体、フィルター組立、ブッシュ 1/2×3/8、異径ニップル G 3/8×R 1/2、ユニオンアダプター
- 2) ご使用のオイルガンや配管に合わせて付属品を組付け接続してください。(「1.2 外観寸法」は接続の一例となります) そのとき、フィルター組立は必ず流体の流れに対しオイルメーターより手前になるように接続してください。

NOTE

- 接続・圧力・流量範囲・媒体(オイル)といった導入時の技術データが、オイルメーターの仕様に適合しているか確認してください。
- オイルメーターを取付け後、エア衝撃圧力や粒子などが、オイルメーターを破損する恐れがないか確認してください。
- すべての接続箇所から油漏れがないか確認してください。
- インラインで使用する場合は、インプットバルブをゆっくりと開き、ギヤが過剰回転しないようにしてください。

3. 用語の説明

BATCH (リセット可能累積量) / TOTAL (リセット不可能累積量) の用語は、デジタルオイルメーターのディスプレイ上に表示される用語です。また、この取扱説明書においても頻繁に使用されます。

- BATCH : リセット可能累積量 (BATCH TOTAL)
供給された累積量を示します。ゼロにリセットできます。
- TOTAL : リセット不可能累積量
デジタルオイルメーターの全使用期間において供給された累積量を示します。リセットできません。
- スリープモード : バッテリー節約モード
デジタルオイルメーターを 30 秒間作動させないとディスプレイの表示が消えます。いずれかのボタンを押すか、デジタルオイルメーターに流体が流れると、ディスプレイはスリープモードから復帰します。

4. TOTAL のリセット方法

4.1 OM-30MN メカニカルオイルメーターの場合

メーター部は2か所あります。

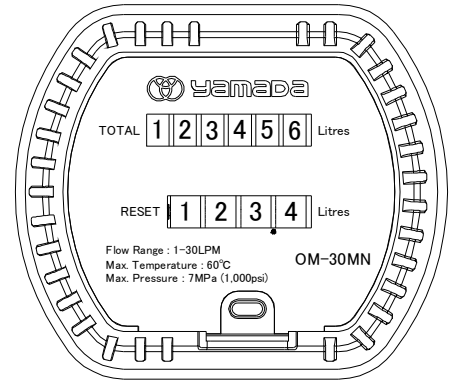
上段：リセット不可能な TOTAL です。

下段：リセット可能な TOTAL です。

- 1) 下段メーターは、下にある RESET ボタンを押すとリセットできます。

NOTE

RESET ボタンは、1回の操作ではゼロにならない場合があります。
ゼロにならない場合は、再度押してください。



4.2 OM-30D デジタルオイルメーターの場合

- 1) MODE ボタンを押すたびに、液晶表示 (LCD) は「BATCH」と「TOTAL」の数字が交互に表示されます。
- 2) 通常運転中は、「BATCH」の数字を表示します。
- 3) 「BATCH」表示のときに、RESET ボタンを押すと、リセット可能累積量がゼロになります。「TOTAL」表示のときは、リセットすることができません。



5. プログラムメニューへの移行及び運転モードへの復帰 (OM-30D デジタルオイルメーターのみ)

<プログラムメニューへの移行>

RESET ボタンを約5秒間押し、プログラムメニューへ移行し、さらにRESET ボタンを押すことで以下の項目を順次切替えることができます。必要に応じて項目を設定してください。

「表示桁数の変更」⇒「計測単位の変更(BATCH)」⇒「計測単位の変更(TOTAL)」⇒「校正」⇒「表示桁数の変更」…

<運転モードへの復帰>

プログラムメニューのすべての段階で、RESET ボタンを約5秒間押し、運転モードへ復帰することができます。

NOTE

運転モードへ復帰する際は、プログラムメニューで行われた変更が自動的に「保存済」となります。

5.1 表示桁数の変更

- 1) RESET ボタンを約5秒間押し、プログラムメニューに入ります。
- 2) 液晶表示 (LCD) の左下に「MENU」の文字が表示され、現在の小数点以下の桁数が表示されます。

- 3) MODE ボタンを押すと使用可能な小数点桁数が順番に表示されます。
- dEC .1** = 1 Decimal Place 小数点 1 桁
 - dEC .22** = 2 Decimal Places 小数点 2 桁
 - dEC .333** = 3 Decimal Places 小数点 3 桁



- 4) 必要な「表示桁数」を選択し、RESET ボタンを押すと「計測単位の変更」に移ります。

5.2 計測単位の変更

- 1) 初めに、「BATCH」の計測単位の変更を行います。液晶表示 (LCD) の左下に「UNIT」の文字が表示され、画面には「BATCH」の文字が表示されます。画面上には「L」の文字が表示されているので、現在設定されている計測単位はリットルです。



- 2) MODE ボタンを押すと、使用可能な計測単位が、順番に表示されます。
L ⇒ GAL ⇒ Qt ⇒ Pt ⇒ Oz ⇒ dL ⇒ L …



- 3) 必要な「計測単位」を選択し、RESET ボタンを押すと「TOTAL」の「計測単位の変更」に移ります。



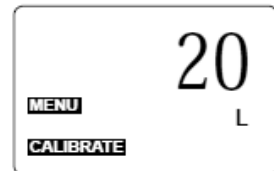
- 4) 次に、「TOTAL」の計測単位の変更を行います。液晶表示 (LCD) の左下に「UNIT」の文字が表示され、画面には「TOTAL」の文字が表示されます。画面上には「L」の文字が表示されているので、現在設定されている計測単位はリットルです。

- 5) 「BATCH」と同様に、MODE ボタンを押すと使用可能な計測単位が順番に表示されます。
L ⇒ GAL ⇒ Qt ⇒ Pt ⇒ Oz ⇒ dL ⇒ L …

- 6) 必要な「計測単位」を選択し、RESET ボタンを押すと「較正」に移ります。

5.3 較正

- 1) 液晶画面 (LCD) の左下に「CALIBRATE」の文字が表示され、画面に数字 (較正中にメーターを通して吐出される「テスト数量」) が表示されます。



- 2) MODE ボタンを押すと、使用可能な「テスト数量 (L)」が、順番に表示されます。

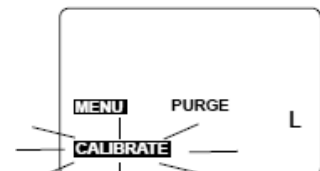
2 ⇒ 4 ⇒ 8 ⇒ 20 ⇒ 100 ⇒ 250 ⇒ 2 …



NOTE

選択するテスト数量のオイルが十分に入る目盛付容器 (メスシリンダーなど) を準備してください。

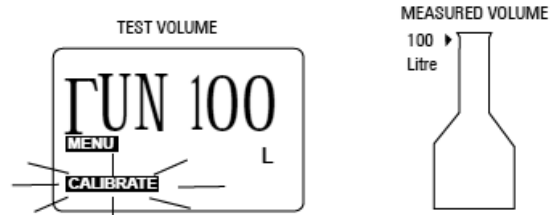
- 3) 必要な「テスト数量」を選択したら、MODE ボタンを約 3 秒間押ししてください。画面に「PURGE」の文字が表示され、同時に、「CALIBRATE」の文字が点滅します。



- 4) オイルメーターに流体を通し、オイルメーター内のエアを吐出します。その後、MODE ボタンを押して較正を始めてください。画面に「RUN」の文字とテスト数量 (例えば「RUN 100」など) が表示され、メーターは較正の為に計測を行います。



- 5) オイルメーターから流体を目盛付容器へ、選択したテスト数量（例えば 100）に達するまで吐出してください。MODE ボタンを押してテストを終了します。



- 6) メーターは「計測した量」と「テスト数量」とを比較し、2つの数量差が**±8%以内**ならば自動的に較正を実行します。液晶画面（LCD）に「DONE」の文字が点滅し、較正完了です。



NOTE

2つの数量の差が±8%以内に収まらない場合、画面へ次のいずれかのメッセージが表示されます。

- ・ ERROR LOW
- ・ ERROR HIGH

この場合、「8.トラブルシューティング」の項を参照してください。

解決できない場合は、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 7) 較正後は流体を流し、精度が合っていることを確認してください。

6. メンテナンス（「7. メーター分解図」の項を参照）

このオイルメーターは、最小限のメンテナンスで済むように設計されています。

必要なメンテナンス作業は以下の2つだけです。

- ① バッテリー交換 … バッテリーが切れたときに行います。（OM-30D デジタルオイルメーターのみ）
- ② メーターボディの清掃 … ろ過の不良により固形物が残留する場合に行います。（共通）

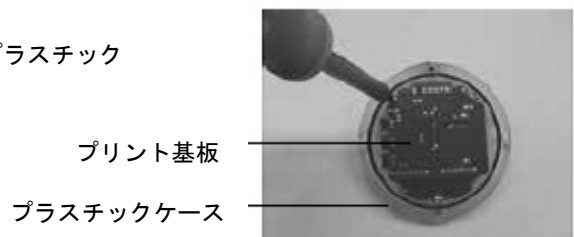
6.1 バッテリー交換（OM-30D デジタルオイルメーターのみ）

バッテリー容量が5%以下になると、画面に「Low Battery」の警告が表示されます。警告は、バッテリーが交換されるまで表示され続けます。

- 1) 保護カバー①を外し、4本のネジ②を対角線の順にドライバーで外し、電子部品③を、メーターボディ⑤から外します。



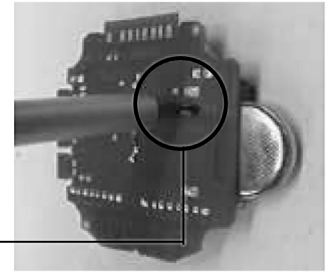
- 2) 電子部品③の3本の留めネジを外して、プリント基板をプラスチックケースから外します。



- 3) プリント基板上のバッテリースロットにドライバーを差込んでバッテリーを取り外し交換してください。

バッテリー型式 : 3V リチウムボタン電池 CR2450

バッテリースロット



- 4) 分解したときと逆の順序で組立ててください。
- 5) 流体を流し、正常に計測されることを確認してください。

6.2 メーターボディの清掃（共通。デジタルオイルメーターの場合で説明）

計測部は、オイルガンから取外すことなく清掃できます。

⚠ 警告



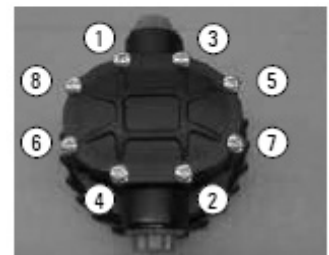
- 清掃前に圧抜きを必ず実施し、メーターから液体を排出してください。

- 1) 8本のメーターキャップネジ⑨を緩めます。
- 2) メーターキャップ⑧とOリング⑦を外します。
- 3) オーバルギア⑥を外します。
- 4) 柔らかいブラシか布で、メーターボディ⑤を清掃します。メーターボディやオーバルギアを、キズつけないよう注意してください。
- 5) 以下の点に注意しながら、分解したときと逆の順序で組立ててください。

- ① オーバルギア⑥を互いに90°の位置になるように置き、指で回してみ、オーバルギアがスムーズに回転することを確認してください。オーバルギアがシーリング面より高い所に位置している場合は、オーバルギアをひっくり返して、はめ直してください。
(磁石が電子部品に面していなければなりません)



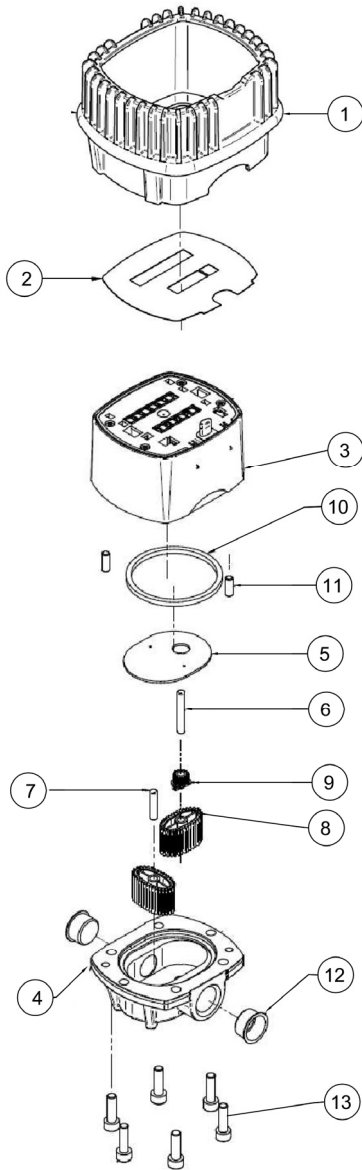
- ② 8本のメーターキャップネジ⑨を均等に、図のように、対角線の順に締めてください。



- 6) 流体を流し、正常に計測されることを確認してください。

7. メーター分解図

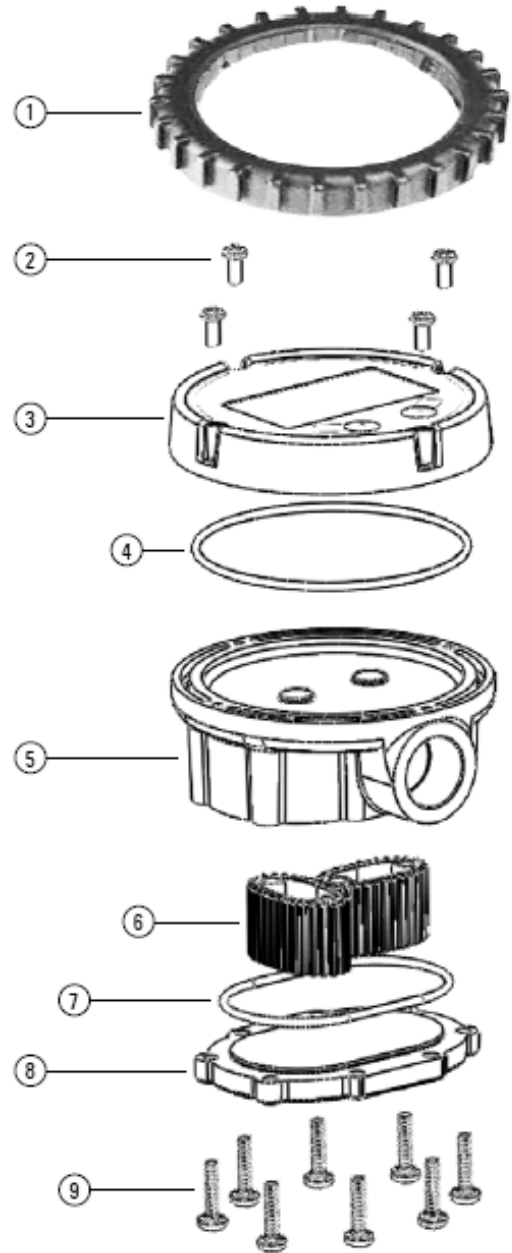
7.1 メカニカルオイルメーター (OM-30MN)



No.	部品名称	員数
1	保護カバー	1
2	ラベル	1
3	レジスター組立	1
4	メーターボディ	1
5	ギア内部カバー	1
6	ギアピン ロング	1
7	ギアピン ショート	1
8	オーバルギア	2
9	カウンター用ギア	1
10	メーターボディシール	1
11	ピン	2
12	保護プラグ	2
13	ボルト	6

※ 製品説明用の分解図です。
各部品の供給はできません。

7.2 デジタルオイルメーター (OM-30D)



No.	部品名称	員数
1	保護カバー	1
2	ネジ	4
3	電子部品	1
4	Oリング (AS568-040)	1
5	メーターボディ	1
6	オーバルギア	2
7	Oリング (AS568-035)	1
8	メーターキャップ	1
9	メーターキャップネジ	8

※ 製品説明用の分解図です。
各部品の供給はできません。

8. トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
液体が、ほとんどまたは全く流れない	オーバルギアが引っ掛かっている	メーターを分解してオーバルギアを清掃する
	メーターボディの詰まり	メーターを分解してオーバルギアを清掃する
	メーター接続部の締めすぎ	接続部の調整を確認する
	流体の粘度が高い	許容された粘度の流体を使用する (上限SAE140まで)
メーターが不正確	流速が速すぎ、または遅すぎ	流速を許容範囲に調整する (1~30 L/分)
	スイベル部フィルターの詰まり	フィルターを清掃する
	流体中の気泡	各接続部を確認し、エア抜きをする
	較正が必要	メーターの較正をする
液晶表示が出ない	バッテリー切れ	バッテリーを交換する
	プリント基板センサー、磁石、液晶の不良	メーターを交換する
ERROR LOW	テスト数値に達していない	再度メーターの較正をする
	オイルの漏れ及びエアの混入	オイルの漏れ止め及びエア抜き後再度メーターの較正をする
	メスシリンダーなどの較正機器の不備・不正確	較正機器の確認をする
	使用可能な流体以外を使用	使用可能な流体を使用する
ERROR HIGH	流体にゴミが混入	メーターを分解してオーバルギアを清掃し、流体のゴミ除去、フィルターを清掃後再度メーターの較正をする
	テスト数値を超えている	再度メーターの較正をする
	オイルの漏れ及びエアの混入	オイルの漏れ止め及びエア除去後再度メーターの較正をする
	メスシリンダーなどの較正機器の不備・不正確	較正機器の確認をする
	使用可能な流体以外を使用	使用可能な流体を使用する

9. 主要諸元

製品番号	805339	805185
型 式	OM-30MN	OM-30D
メーターの種類	メカニカル	デジタル
メーターの機構	オーバルギア	
最高使用圧力	7 MPa	
圧力損失	70 kPa	
使用可能な流体	粘度 SAE140 までのオイル、ディーゼル、ケロシン、及びエンジン冷却剤	
使用できない流体	水ベースの流体、ガソリンなどパッキンなどの部品を侵す流体	
流量範囲	1 ~ 30 L/min	
流体の最大粘度	SAE 140 / 1000 CP	
精 度	± 3.0 %	± 2.0 %
繰返し精度	3.0 %	3.0 %
使用温度範囲	-10 °C ~ 60 °C	-14 °C ~ 55 °C
BATCH TOTAL の最大値	999.9 L	99999.9 L
TOTAL の最大値	999999 L	
液晶の小数点表示	—	0.1、0.01、0.001 単位
防水性能	—	IP65
バッテリー	—	3V リチウムボタン電池 CR2450

10.製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の 個人保護方針 に 基づき 適切な 安全対策 のもと 管理し、お客様の 同意なく 第三者へ 開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

11.保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055